

なめがわ 議会だより

第 113 号

発行
滑川町議会
平成26年5月1日

責任者
議長 金井塚徳一
編集

議会広報発行対策特別委員会
比企郡滑川町福田750-1
TEL 0493(56)2211
FAX 0493(56)5522

今日から1年生 宮前小学校

◎3月定例会

- ・町長施政方針 3 P
- ・新設の「健康づくり課」を拠点に健康づくりをより一層推進 4 P
- ・平成26年度一般会計・各特別会計予算が成立 6 P
- ・議員4名が自治功労者表彰される 8 P

予算成立

一般会計 53億7200万円

特別会計 37億5477万1千円

第191回 3月定例会



26年度 各会計予算規模(当初予算)

(単位:千円)

区分	平成26年度(A)	平成25年度(B)	増減額(A-B)	前年度比(%)
一般会計	5,372,000	5,278,000	94,000	1.8
国民健康保険特別会計	1,583,000	1,431,000	152,000	10.6
介護保険特別会計	973,333	903,000	70,333	7.8
後期高齢者医療特別会計	118,075	106,000	12,075	11.4
下水道事業特別会計	428,000	443,000	△15,000	△3.4
農業集落排水事業特別会計	80,000	82,000	△2,000	△2.4
浄化槽事業特別会計	132,000	154,000	△22,000	△14.3
水道事業会計	440,363	488,792	△48,429	△9.9
合計	9,126,771	8,885,792	240,979	2.7

平成26年3月定例会は3月4日に招集され、8日間の会期で開催されました。
今定例会は、平成26年度当初予算を中心に、平成25年度補正予算、条例改正など、提出された29件の議案を慎重に審議し、全て原案どおり可決されました。
一般質問は、5名の議員が登壇し、町政全般にわたり質問しました。

定例会 会期日程

3月4日

- ・開会及び開議の宣告
- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定

・諸般の報告

・行政報告並びに施政方針

・所管事務の調査報告

・全議案の一括上程、説明

・総括質疑

・請願審議

3月5日

・一般質問

3月6日

・全員協議会

・総務経済建設常任委員会

3月7日

・予算審査特別委員会

3月8・9日 休会

3月10日

・予算審査特別委員会

3月11日

・議案審議

吉田町長施政方針

町民皆様の力強いご協力をいただき3期目の最終年度を迎えることができます。今日までの11年5カ月の間、町政を担う重責から、誠心誠意、町政運営に当たって参りました。

さて、皆様のお力添えで本年11月には町制施行30周年を迎えます。そして、町長就任以来の「福祉」「教育」「環境」「平和」、新たに「健康」を加えた5本柱を基調に、平成26年度も将来の滑川町を見据えた「町民と一緒に歩む町づくり」に取り組んで参ります。

事業の概要

1 総務関係

- ・町制施行30周年記念式典及び記念事業の実施
- ・人権フェスティバルの開催
- ・第5次総合振興計画・前期基本計画策定業務委託
- ・羽尾表集会所新築工事補助金

2 福祉関係

- ・高校終了までのこども医療費の無料化
- ・子ども・子育て支援事業計画策定業務委託
- ・第6次高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委託
- ・健康づくり団体補助
- ・出産祝金及び各種予防接種の継続
- ・小川赤十字病院に対する建設負担金

3 農林関係

- ・山田地区、中尾下田地区、羽尾中部地区土地改良事業を継続
- ・公社営両表・大木土地改良事業を実施
- ・八木井堰護岸補修工事

4 土木関係

- ・伊古地区の町道103号線道路改良工事
- ・山田追山地区の町道182号線舗装補修等工事

5 環境関係

- ・住宅用太陽光発電システム設置事業補助金

6 教育関係

- ・子育て支援としての学校給食の無償化を継続

平成26年度

総 額

91億2677万1千円

(前年比2億4097万9千円増)



総括質疑

消費税増税による町の影響額は

問 4月1日から、消費税率が8%に引き上げられる予定であるが、すべての世帯が増税となる中、比率は低所得世帯ほど重くなる。平成26年度の町の予算はそれに対応した予算になっていると考える。消費税が増税されると公共事業等の工事費や、光熱水費、事務機器等々を購入する物件費など、地方自治体の歳出にかかる消費税の負担も増えることになる。影響額は。

答 需用費や委託料、工事請負費、使用料及び賃借料等で、約4000万円である。
町民の使用料については、受益者負担の原則にのっとり、公平な負担をお願いしていきたい。

特別委員会

Q & A



田幡宇市委員長・大山尚美副委員長（審査中）

平成26年度当初予算の審査は、予算審査特別委員会が設置されて2日間にわたって行われました。

この特別委員会は、議長を除く13名の委員で構成し、委員長には田幡宇市委員、副委員長には大山尚美委員を選出して、一般会計予算を始め、各特別会計予算6件、企業会計（水道事業会計）予算1件につき、課長以下担当説明員も出席し、より詳しく慎重に審査を致しました。

国民保護協議会委員とは

Q この協議会委員の構成メンバーについていかががう。

A 県職員、警察署、消防署、指定地方公共機関等からの選出された人達である。計画策定の目的は。

Q 我が国に対する武力攻撃事態、武力攻撃予測事態、緊急対処事態から、町民の生命、身体、財産を保護するため、必要な事項を定めるものである。

児童手当について

Q 今年度の対象になる児童への支給額は変わらなにかうかがう。

A 変わりはない。

Q 所得制限以上世帯への支給はどうか。

A 今迄通りで、子供1人あたり5千円の支給。

健康づくり推進事業について

Q 県でも「健康長寿埼玉プロジェクト」を県民運動にしようということで、又医療費の増加に歯止めをかけるために予算を計上し、様々な事業を行っている。

滑川町でも、町独自の事業を始めたらどうなのかうかがう。

A 町としては今のところ新年度から新たに設置する「健康づくり課」に於て、(一)健康づくりのより一層の推進と(二)特定検診の受付事務を今までは、役場や保健センターでやっていたのを今年からは窓口の一本化として保健センターのみで行うことにする。その他の事業については検討をしたい。

新しい課ができました。

健康づくり課

保健予防担当

母子保健に関すること
予防接種に関すること
生活習慣病その他疾病の予防に関すること
感染症に関すること
精神保健に関すること
その他保健予防及び母子保健に関すること

健康づくり担当

保健センターの管理運営に関すること
各種健康診査に関すること
栄養指導に関すること
献血に関すること
救急医療その他医療機関との調整に関すること
その他健康づくり及び成人保健に関すること

平成26年度 予算審査

災害時照明用発電機付 投光器の購入

Q この投光器の台数は何台なのか、また、どのように活用できる物なのか。

A 台数は3台。火災現場の夜間照明や災害発生時の対策本部設置場所や避難所等での照明に使用する。

町指定業者 不法行為に指導を

Q ある下水道工事が所有者の承諾なく人の土地に不法に重機を駐車していると連絡があった。土地所有者

によると、貸した覚えはないとの事ですが、町はどの様な指導をしているのか。
A これまで以上にこの様な事が起きないように再発防止に努める。

幼稚園保育料について

Q 現年度保育料3207万6千円が計上されているが、計算方法をうかがいたい。

A 9000円×297人×12ヶ月分。

Q 3歳児、4歳児、5歳児別の人数についてうかがう。

A 3歳児97人、4歳児100人、5歳児100人の予定。

Q しかし、今年度も3歳児については、二次募集した結果、合計で87人だった。13人の欠員となる。対策についてうかがう。

A 今は、働く家庭が多いために、保育園に入園させる家庭が増加していると推測している。対策については、なかなか難しいのが現状である。

小川赤十字病院に対する 建設負担金について

Q 本年度負担金の計上は、808万3千円であるが、

何年間負担するのか。
A 本年度同額を3年間予定しており総額2424万9千円となる予定。

道路改良工事

Q 防災・安全社会資本整備交付金事業道路等工事で1500万円計上されているが、路線はどこを予定しているか。

A 成安寺前から福田交番前までの区間の舗装工事を予定している。

保育サービス支援

Q 安心、元気保育サービス支援が4種類出て総額1844万4千円計上されているが、どのような内容か。

A 各保育園にて1歳児4人につき1人の割で保育士を配置する事により補助を行うもの。

途中入所需要等に対応し保育所に補助を行う事業。

食物アレルギー者2人以上受け入れる保育所に給食の提供の充実を図るため補助を行う。

障害児の受け入れで保育士を加配し、障害児の処遇の向上を図るために補助を行う。

伊古山田線

Q 社会資本整備総合交付金事業道路等工事5000万円計上されているが、どの路線か。

A 一〇三号線（伊古山田線）の改良工事。

Q 伊古山田線の工事期間は、どれくらいを予定しているか。

A 25年度から29年度までを予定しており、総工費は約2億円を予定している。

障害福祉サービス

Q 障害福祉サービス介護給付費・訓練等給付費2億2439万9千円計上されているが、どのような内容か。

A 介護給付費は、居宅介護、行動援護、短期入所、生活介護、施設入所等に使用している。

訓練等給付費は、一般企業に雇用されていたが困難になり、再度雇用結び付ける様に、訓練等を実施できる事業所を利用する給付費として負担している。町内に4箇所ある。

重度心身障害者の 該当人数は

Q 重度心身障害者医療費助成金4887万6千円計上されているが、重度心身障害者の該当人員とは、どのような人達か。

A 身体障害者手帳一級から三級までの方で335名。さらに療育手帳の保持者A・A・Bの方66名が対象。



103号線道路改良工事着工前 終点

平成25年度 一般会計補正予算・特別会計補正予算



町税返還金の内容は

Q 平成25年度、一般会計補正予算のなかで、税務総務費、町税返還金、73万5千円が計上されたが、内容は、工業団地内にある会社の固定資産税の課税ミスで納税者に返す金額です。

A 課税間違いとのことだが、内容は、

Q 法務局の書類上では、抹消されていたが、町の固定資産台帳には残っていたため課税してしまった。

A 昨年も高額な課税ミスがあり、この件を公僕としてどう思うか。

Q 今後このような事案がないよう職務に精励して行く。



福小プール内部より漏水

福小のプール修繕料は

Q 修繕料114万4千円が計上されているが、福田小学校のプールは新設して何年たっているか。

A 4年目である。

Q 老朽化だったら仕方がないが新設して4年目では、工事等に問題があると疑えるが、町の考えは。

A 昨夏のプール終了後、プールの跡地は田圃を埋めて建設した。その後発生した震災時に砂の一部が抜かれたのか等について調べて行く。

要望 建設4年後の漏水でも良く業者と話し合っって責任を取るようになって欲しい。



漏水により床パネル取外し修理

宮前小学校教室用ロッカー等の取替設置工事は

Q 工事請負費1361万4千円が計上されてるが実施時期は。

A 17教室分のロッカーを作る製作時間が1ヶ月位かかるので、5月の連休までに実施完了して使えるようにする。

子宮頸がんワクチン接種委託料の減額は

Q 子宮頸がんワクチン接種委託料が503万4千円減額になっているが、その理由は。

A 厚生労働省から当分の間接種をさしひかえるような勧告があったので、300人分を控えたためである。

Q 最初の予定人数は何名だったのか。

A 当初は400名だったがそのうちの100名が予防接種をしたため、残りの300名分が減額になった。

Q 26年度分の対象人数は。

A 対象者は291人のところ200人分の600万円を予算化している。

国民健康保険費の増額は

Q 国民健康保険費が補正前の額に対して4992万5千円と(68%)大幅に増額になっているが、要因は。

A 当初予算時より要望をしていたが、最終的に不足が発生したので、一般会計から特別会計への繰出金5000万円を計上した。

農地費の減額は

Q 農地費で補正前の額に對して2504万3千円も減額されているが、差額が大きい要因は何か。

A 農地費については、県の単価にて設計を見込んでいるので入札価格との差額と、調査するため池箇所数の減少により減額が発生した。

臨時福祉給付金の支給対象者は

Q 臨時福祉給付金支給の対象者は。

A 所得税非課税の人が対象となる。扶養になっている人は対象外である。金額はいくらか。

A 一人一万円。

Q DV被害者への手続きはどうなるのか。
A 住んでいる市町村で申請をする。

たばこ税の増額

Q 町たばこ税が補正前の1億3938万円から2900万円の増額補正となり1億6838万円となっている。この時期に多額の補正となった理由は。
A 今年度の12月までの収入額の実績と1月から今までの実績の90%をみて、2900万円とした。

Q 以前に、税制改正があり、たばこ一本あたり町に入る金額の割合が多くなったときもあったと思うが。
A 今回は税制改正ではなく、単に実績からみた増額である。

中学校の駐輪場増設・復旧工事

Q 中学校費の中の駐輪場増設等工事で429万1千円の補正は。
A 新年度で生徒が増えるので、そのための増設費用である。

Q 駐輪場等災害復旧工事に1743万円計上されているが、これは大雪の時の

壊れてしまった駐輪場を復旧するための費用となる。雨に強い形態にするなどの考えは。
A 材質をアルミからスチールに替えるなど、重さに耐えるようにする。

Q 雨が降ったりすると荷物がぬれてしまうので、早期に工事を望むが、できるだけ早くできるような努力する。
A 雨が降ったりすると荷物がぬれてしまうので、早期に工事を望むが、できるだけ早くできるような努力する。



雪害を受けた滑中駐輪場

過年度分の学校給食費減額は

Q 学校給食は生徒・児童などは無償だが、現年度分と過年度分の給食費が計上されている。現年度分は教職員やその他試食などによる費用だと思いが、過年度分給食費の減額補正の理由を問う。
A 過年度分給食費の減額については、無償化以前の給食費の滞納分についてである。

Q 無償化になって3年が経過しているので、以前の給食費を集金するのは大変なことと考えるが。
A 給食費は不納欠損にはできないので、ねばり強くお願いしていく。



新設の滑中駐輪場

請願

森林公園西入口前交差点改良を求める請願

請願主旨及び理由

提出者 福田第二区長 吉田辰雄

県道173号線(ときがわ―熊谷線)は交通量が年々増加し、重大交通事故が発生しております。

また、最近中央にガードレールが取付けられたため、通行車両が見づらく、町道209号線より右折し東松山方向に曲がるには大変危険な状態に有ります。

この交差点は、日常生活に非常に危険を伴う道路です。特に町道を利用する地域住民94名の同意書を添えましたので、一日も早い交差点改良を滑川町議会において、是非ご理解をいただき採択されますよう発起人を代表し伏してお願い申し上げます。

請願事項

- ① 町道に森林公園西入口前の信号と連動する感知器を設置すること。
- ② 熊谷方面から町道に右折する際、追突防止対策として県道173号線に右折専用車線を設置すること。

請願第二号

総務経済建設常任委員会

審査報告

請願第二号、森林公園西入口前交差点改良求める請願の件について、総務経済建設常任委員会に付託され、審査の結果「採択すべきもの」と決定致しました。



現地を視察

我が町政と問う

一般質問

3月定例会では、5人の議員から15件の※一般質問が行われ、町政全般について活発な議論が展開されました。質問と答弁の要約内容は9ページから13ページです。なお、全文記録(議事録)については、6月中に滑川町ホームページ (<http://www.town.namegawa.lg.jp>) に掲載しますのでご覧ください。

●上野 廣(9ページ)

- ・木質バイオマスの推進を
- ・地域人づくり事業の推進を
- ・松寿荘の活用は

●田幡 宇市(10ページ)

- ・平成26年度予算、メリハリのある本案とは
- ・町長継続への意欲は
- ・消防団に女性団員を

●上野 憲子(11ページ)

- ・大雪による町の対応と被害は
- ・食の安全、アレルギー、被災地の対応で光る自校給食の考えは

●高坂 清二(12ページ)

- ・道路の除雪対策と今後の課題は
- ・南部小学校建設予定地跡地の利用計画は

●大山 尚美(13ページ)

- ・学校メールの配信を
- ・町 HP にキッズサイトを
- ・未婚のひとり親家庭に「みなし寡婦(夫)控除を」
- ・「読書通帳」のとりいれを
- ・町役場駐車場にハート・プラスマークの設置を

一般質問は
次ページより

※一般質問＝議員が町の行財政にわたる執行状況や将来への方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すこと。

議員自治功労者表彰



長谷川元夫 議員

埼玉県町村議会議長会より、議会議員として25年以上在職し、功労のあった者として表彰を受けました。



井上奈保子 議員

全国町村議会議長会及び埼玉県町村議会議長会より、議員として15年以上在職し、功労のあった者として表彰を受けました。



伊東 康夫 議員



金井塚徳一 議員

比企郡町村議会議長会より、議員として、10年以上在職し功労のあった者として表彰を受けました。

訂正

なめがわ議会だより第112号8ページ、一般質問中、「乳がんは20歳、子宮頸がんは40歳」と記載がある部分について、正しくは、「乳がんは40歳、子宮頸がんは20歳」です。
お詫びして訂正させていただきます。

木質バイオマスの推進を

先進地を調査し、検討



上野 廣 議員

木質バイオマスの推進を

問

20世紀の「燃料革命」で化石燃料に駆逐された木質バイオマスは、21世紀とともに始まった「エネルギー転換」で再び表舞台に出てきた。オーストリアでは、2004年から2011年にかけて、化石燃料が32.2%から18.6%に減少、木質バイオマスは26.4%から35.6%に増加している。

今後、このような木質バイオマス活用の動きは全世界的に進むと予測される。滑川町のような未利用な低質の木質資源の多い地域が適しているといわれている。

そのような観点で、町内の木質バイオマスの年間の発生量、木質バイオマスの活用及び支援の現状及び今後の活用・支援について、うかがいたい。

答

埼玉県が、平成24年に県各市町村の木質バイオマス資源を調査した結果、当町は、年間538.5トンの間伐材などの木質バイオマスが発生している。木質ペレットストーブへの補助金制度を出している近隣自治体も増えてきているので、先進地を調査して、木質バイオマスの活用・推進を検討していく。



木質バイオマス・ペレット



木質ペレットストーブ

地域人づくり事業の推進を

問

本事業は、平成25年度厚生労働省の補正予算1020億円を計上、その中から埼玉県に12億円基金を交付、県内市町村が民間企業や各種団体に委託し、100%補助で、地域の多様な「人づくり」を通じた雇用拡大・賃上げを促進させようとするものである。事業期間は、平成26年度に開始した事業は平成27年度までとなっている。

町内企業、団体の育成のために、本事業推進の提案募集を行う計画があるかどうか。

答

第二次募集の3月末申請に向けて、町内役場各課、商工会、東松山工業団地会などに、すでに案内しているところである。産業振興課としては、町内農産物の6次産業化でよい提案があれば、サポートしていきたい。

松寿荘の活用は

問

地域づくり事業などを推進する中で、座学研修・企業実習をする施設が必要になる。松寿荘は研修する施設として、許認可されていると聞いている。民間企業や団体が研修などに利用できるように改修する考えがあるかどうかいかがいたい。

答

松寿荘は、町の出土品や農具などを常設した郷土資料館、入り口付近のスペースをマレットゴルフ場の休憩場所として活用していく予定である。研修施設としては、文化スポーツセンターを利用できる。



松寿荘研修棟



田幡 宇市 議員

町長継続への意欲は

支持をいただき立候補する

平成26年度予算
メリハリのある本案とは

問 平成26年度の予算が示された。厳しい財源のなかでの予算措置であると思う。歳入は負担をいただく税であり歳出は住民の生活サポート、町の将来を見据えた投資的な予算である。重点施策に積極的な配分とメリハリのある本案とは。

答 今年は町制施行30周年の節目である。小川日赤建設負担金、システム共同化の経費、民生費、教育費、総務費などの投資的な予算に重点をおいた。

問 小川日赤建設負担金は、3年間で2400万円になる。近年医師不足で医療の縮小がみられる中、建設により充実が期待できるが、

運営等に意見を述べることもできるのか。
答 近隣の自治体で負担をする町村等で要望することになると思う。

町長継続への意欲は

問 就任して3期目の終盤を迎えた。常に町民目線で行政を進めてきた。教育環境整備、子育て支援対策、農地の有効利用の実施、町民福祉等々であり、県町村会会長の要職に就任され、県システムの共同化を進め、町経費の大幅な削減が見込める。町行政運営の卓越した実績、県内22町1村のトップとしての活躍は、町民等しく認めるところであり、来る9月町長選挙が実施される。引き続き町民の負託に答えるのか尋ねる。

答 町民皆様の協力を得て3期目の最終年度を迎えた。誠心誠意全力で町政運営に努めてきた。環境、教育、福祉、平和、健康を柱として町民の健康づくりに取り組む。皆様の支持を得て立候補する。

要望

9月に実施される町長選に立候補する旨の熱い決意が示された。卓越した政治手腕と人と自然の共生の町、将来都市像を見据

えた政策のもと正々堂々と選挙戦に挑んでいただくよう要望する。

消防団に女性団員を

問 消防団は2分団4部の組織で55名の団員が地域防災の要として活躍している。近年は災害も多様化しており自然災害も発生している。高齢化社会の中、予防と減災も大切な防災になる。

全国には女性団員の活躍がみられ、女性特有の感性を活かした活動が求められる現状でもある。滑川消防団も女性団員を募集する考えがあるかどうか。

答 比企管内に7団の組織がある。女性団員が活躍中の団は、東松山市、小川町、吉見町、ときがわ町、東秩父村で、女性団員不在は滑川町、嵐山町の2団。今後消防団と協議し前向きに検討する。



活躍する女性消防団員



上野 憲子 議員

農業経営者の負担軽減は

国、県、町も補助率アップを検討

大雪による町の対応と被害は

問

大雪の影響で、野菜を中心とする県内の農業被害が229億円に達していることが県の調べでわかった。

町内でも大きな被害が見受けられた。町の公共施設、一般家庭、農業被害への調査状況は。

答

公共施設では、役場のカーポートやコミュニティセンターの自転車置場、滑川中学校の駐輪場など損壊の被害がでている。

一般家庭では、カーポートやベランダ・テレビアンテナ・自動車などの被害が報告されている。

農業被害は、ビニールハウスや畜舎の倒壊など、大変な被害があった。



▲雪で倒れたビニールハウス



大雪で除雪作業中▶

問

滑川中学校の駐輪場など、早期な改善が望まれるが。

答

今議会で、補正予算を上げて、できるだけ早期に行う。

問

一般家庭のカーポート廃材等の受け入れは。

答

町を通せば、小川地区衛生組合で受け入れを行う。

問

農業被害は甚大なものがあつたが、農業ハウスなどの再建、修繕にむけた国の経営体育成支援事業の補助率のかさ上げを求める要望については。

答

農水省は補助率を現行の3割から5割に引きあげ、県や市町村もできるだけ農業者の負担を少なくしていく。

食の安全、アレルギー、被災地の対応で光る自校給食の考えは

問

ここ数年は、学校給食にとっても、食をとりまく状況にとつても厳しい情勢が続いている。原発事故以降の食品の放射能汚染の問題、また、個別対応食がためされる食物アレルギー対応は、予算や人も含めた体制の整備が求められているが。

答

栄養士などの配置を要望している。

問

自校方式給食の必要性・重要性は理解されているが、財政的な面で今までも実現されていなかった。東日本大震災時の対応でも、自校方式は大切な位置づけとなった。改めて、今後の考えをうかがう。

答

自校方式の良さはわかっているが、現状の給食方式で、いろいろ対応しながらやっていく。



高坂 清二 議員

道路の除雪は

幹線道路から実施

道路の除雪対策と
今後の課題は

問 2月8日未明から降り

積もった雪で、熊谷は43cm、1954年以来60年ぶりの積雪で観測史上3番目の記録となった。次の週の15日には62cmの最大積雪量を観測した。滑川町における道路の除雪体制についてうかがう。

答 除雪体制の担当路線図に基づき、主に幹線道路

の1級、2級路線を中心に除雪の体制に入っている。町内の土木建設業者等の皆さんに依頼して、除雪作業を行った。

問 除雪作業を実施した業者数と使用機械について

うかがいたい。また、除雪をした後、気温が下がると路面が凍結し、スリップ事故が発生する恐れがある。凍結を防止する対応は。

答 除雪作業にあたった業者数は12社、タイヤショベル・排土板付バックホウである。また、除雪後に幹線道路の橋の上や坂道、日中でも日の当たらない凍結しやすい個所に凍結防止剤の散布をしている。

問 歩道、生活道路の除雪には地域との連携が必要だと思いが、どの様なことを実施したか。

答 防災無線での除雪のお願い、PTAについては連絡網を通じて依頼をした。

問 地域の方が除雪の機械を多く出したと聞いているが、謝礼等は。

答 ユンボ・ショベルのついたトラクターなどの機械を62台提供して頂いた。借り上げ料として1万円の支払いを予定している。

問 町内業者に除雪を依頼しているが、町外業者には要請しないのか。

答 除雪を要請するのは難しいと思われるが、可能であれば今後検討する。



60年ぶりの大雪

要望 今回の大雪では地域の方からの協力をいただいた。機械を提供された人のリストを作成し、大雪の場合には、町からの依頼が出来るような体制作りをお願いしたい。

南部小学校建設予定地
跡地の利用計画は

問 今後の利用計画は。

答 平成26年度から第5次滑川町総合振興計画・前期基本計画を策定していく。この中で、町民の意見を集約し、将来構想に位置づけていく。

要望 どのような土地利用をするのか、地元の見も十分に検討し、地域に合った計画づくりをお願いしたい。



旧小学校建設予定地



大山 尚美 議員

学校メールの配信を

出来るだけ早く開始する

学校メールの配信を

問

小・中学生の保護者の方々から「学校からの連絡をメール配信で行って欲しい」という要望が非常に多い。迅速でスムーズな連絡ができる、メール配信の導入は。

答

学校情報メール配信システムは、学校行事や災害時、その他日常的に迅速に出来る為、有効だと認識している。検討すべき所もあるがメールと従来の連絡網を併用する方向でシステム導入に向け、検討していく。

問

早急な導入を求める声が多いが、いつから開始になるか。
答 導入費用を検討し、出来るだけ早く開始する。

町HPにキッズサイトを

問

町の、子どもへの情報発信の取り組みとしてインターネットを利用した情報提供がある。子ども版、町HPの作成は。

答

HP、広報紙等は小学校6年生を対象にしているが、サーバー内のごくかに、より読みやすい子ども向けの項目を作るようにする。

未婚のひとり親家庭に「みなし寡婦(夫)控除を」

問

未婚のひとり親家庭には、国の制度上適用されていない「寡婦(夫)控除」を、みなし適用し独自の支援をする自治体が増えていく。町の取り組みは。
答 県や国の状況にあわせて検討していく。

「読書通帳」の取り組みは

問

図書館運営の工夫のひとつに、自身の読書履歴が分かる「読書通帳」がある。町の取り組みは。

答

子ども達が本好きになるような環境作りの為にも、他町村事例を参考に、費用等を前向きに検討する。

役場や公共施設の駐車場にハート・プラスマークの設置を

問

ハートプラスマークとは内部障がい者を示すシンボルマークである。外見は健常者とかわらない為、車を障がい者用スペースに駐車すると注意されたり、周囲の冷たい視線をあびることもある。

答

簡易ではあるが、看板を設置した。町駐車スペースをブルーにぬりかえる時、ハート・プラスマークを路面表示する。



ハート・プラスマークの看板

議会運営委員会報告 (所管事務調査報告)

視察地 茨城県東茨城郡大洗町議会
調査年月日 平成26年1月22日
調査事項 議会改革について

○大洗町の概要

大洗町は、茨城県の太平洋岸のほぼ中央にあり、東茨城郡の東端に位置しています。

県都水戸市の中心部から南東に約11km、東は太平洋に面し、北は那珂川を境にひたちなか市と、西北は涸沼川を境に水戸市と、西南は汽水湖である涸沼をはさみ茨城町と、南は鉾田市とそれぞれ接しています。町の面積は23・19km²、人口は17,500人、世帯数も約7,000と滑川町に似た自治体です。

○大洗町議会構成

現行定数13名、総務、文教厚生、建設経済、予算決算の各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会を置く。平均年齢56歳と滑川町議

会より若い構成となっており、

○議会改革の経緯

議会基本条例施行

議会の基本理念と議会の活動原則を定めています。自主的・自立的な議会運営を実現するための基本的な事項を定め、議会と町民との関係を明らかにするものです。

議会政治倫理条例施行

議会が町民の代表者、そして公職者として権限や地位による影響力を不正に行使用して利益を図る事のないよう、明確な基準を定めています。

議会委員会条例改正施行

定数を15名から2名減の13名になったことから、各常任委員会の委員数を改める。また、1人の議員が2つの常任委員会に所属することとなり

ました。

委員会条例改正施行

常任委員会の専門性を高めるため、委員の任期を2年から議員の任期に改めるとともに、予算と決算を総合的に審査・調査するため、予算決算常任委員会を設置しました。

○実践された議会改革

一問一答方式の一般質問

(滑川町議会にても実施)

午前中に一般質問

反問権の付与

1日1委員会の開催

委員長報告の充実化

傍聴者へのアンケートの実施

政務調査費の廃止

各会議への議員の出欠席の公表、議案に対しての議員の賛否の公表

議会報告会の開催

新たに実践していく議会改革

議長公用車の廃止

(滑川町議会にても実施)

日曜議会の開催

各常任委員会での係長による答弁

(滑川町議会にても実施)

各年度事業の進捗状況の報告

スクリーンを活用しての一般質問

○感想・まとめ

大洗町議会における、議会運営の工夫点は、平成19年の議員改選を契機に、これまでに「開かれた議会、信頼される議会を作る」の決意のもと、議員の資質向上に努め、特に改革に当たっては何事も議員が自ら行動することを重視してきたことです。

工夫点の内容については、当初取り組んだ主なもの、新たに作り組んだものを議会だよりの特別号を作り、住民にわかりやすく列挙し、全世界に配布しました。工夫点の取り組みの中で、滑川町議会でもすぐに実施できるもの、また、今後やっていかなければならないことなど、検討課題であると感じました。

大洗町議会基本条例並びに政治倫理条例は平成23年6月に施行され、両条例とも、滑



所管事務調査 茨城県東茨城郡大洗町

川町議会議員として、議会活動を行う上で重要なことと認識はしています。今後、条例化の方向の位置づけを行う必要性を感じているところで、最後に、傍聴者数日本一を目指す取り組みは、全議員一丸となって押し進めており、今後の滑川町議会改革に大いに参考になりました。

総務経済建設常任委員会 (所管事務調査報告)

視察地 東京都武蔵野市 ひと・まち・
情報創造館 武蔵野プレイス

調査年月日 平成26年1月31日

調査事項 複合施設の先進的施設

総務経済建設常任委員会では、町民の生涯学習活動を支援する施設として、各種機能を融合させた複合施設の建設可能性を検討しています。そこで、昨年の千葉県成田市や香取市に続いて、佐賀県武雄市の蔦屋書店運営の図書館と比較されることの多い、東京都武蔵野市の図書館機能を中心にした複合施設、「武蔵野プレイス」を視察しました。

文教厚生常任委員会 (所管事務調査報告)

視察地 夢のみずうみ村浦安デイサービスセンター

調査年月日 平成26年3月18日

調査事項 先進的デイサービス施設

生きていることは素晴らしい、一人一人みんながうれしい、人の温かさにつつまれる中でこそ、人は真に生きることができる。
みんながってみない

―夢のみずうみ村憲章(抜粋)―
この理念を元に運営されるデイサービスの内容は

・バリアフリー(バリアフリーの反対)
・自分で一日のスケジュールを決める

・ランチはバイキング形式
等、一般的なデイサービス施設の内容と大きく異なります。

一日平均、約90人の利用者が来所。「木工、陶芸、パン作り、調理、プール、シネマ、入浴、洗濯、カラオケ、マジシャン、カジノ、あみもの、はた織り、貼り絵」等、多彩なメニューが用意されています。この中から自分がやりたい事を選び、タ

ひと・まち・情報創造館「武蔵野プレイス」は、中央本線武蔵境駅前に立地しております。駅前にあがりちな喧騒をあえて打ち消すように、真っ白な壁に大きな楕円の窓が均等に並んだ独特の空気感を持った施設です。中に入ると、一階の真ん中にカフェがあり、コーヒのいい香りが漂ってました。図書館の蔵書カフェ店内に持ち込み自由で、お茶をしながら、あるいは食事をしながら皆それぞれに読書したり、おしゃべりしたりしていました。夜10時30分まで営業しており、ビールやワインといったアルコールも提供されているのには驚きました。もちろん図書館をはじめとして、「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の館内すべてのスペースが夜10時30

分まで営業しています。

武蔵野プレイスは、人々の交流が自然に生み出される「場」を提供し続けることにより、生活、文化、芸術、自然、歴史、まちづくり、ボランティア活動、生涯活動、福祉、教育などの横断的な活動やネットワークの活性化を促すことによつて、地域社会の魅力を高めることに成功しています。成熟した地域社会における新しい公共施設の一旦を垣間見た気がします。



ひと・まち・情報創造館「武蔵野プレイス」

イムスケジュールを自分で決めます。例えば、今日は何もしないでんびりしたい、と思えばそれもOK。既成のスケジュールのままに一日を過ごすのではなく、自らの意志で一日をすごします。この施設の最も大きな特徴は、金銭の決済が必要という事があります。金銭といつても施設内のみの限定通貨「ユーメ」のことで、このユーメがなければ、多彩なメニューの恩恵を受けられません。入所時に、幾く分かのユーメは貰えるがあとは、自分で稼がなくなくてはなりません。施設内のいりくんだ通路に様々な仕掛けがあり、指を使ったり、手の動きが必要だったり、足の運動だったり、難しい漢字、駅名を線路に貼りつけていく等々、一般的に言うリハビリを自分で行い、

その対価として、ユーメを貰います。そしてそのユーメを使って、多彩なメニューの中から自分のやりたいことを選び、楽しい一日を過ごすという仕組みを作っています。利用者は、介護保険の対象の方、自立支援受給者証を持っている方等で、利用者の中には、キャリーカーを押している人や、片麻痺、認知の方など様々。施設見学者への説明も、利用者が行い約2時間かけて施設内を案内していただきました。この夢のみずうみ村はもと山口県内で個人が運営しているものだが非常に人気があり、メディアで何度か紹介され、現在では千葉県内や都内でも運営されるようになってきています。



夢のみずうみ村「流れる温水プール」

分の意志で楽しい毎日を送れるように、選択肢の一つとして、この夢のみずうみ村の取り組みはとても参考になりました。



入園・入学おめでとう



滑川幼稚園



月の輪小学校



4月8日(火)に小学校3校と中学校にて入学式が一齐に行われました。校庭には満開に咲く桜の花の下、児童・生徒・保護者の皆さんの明るい笑顔が印象的でした。

4月10日(木)には、滑川幼稚園の入園式が行われました。

滑川中学校



福田小学校



議会を傍聴してみませんか。

次回、第192回定例会は6月3日(火) 開会予定です。是非傍聴においでください。

編集後記

大雪被害の状況と対応

○転倒事故4件、車両事故2件、公共施設被害、滑川中学校自転車置場倒壊他3件、撤去及び復旧費用合計1816万8千円を要しました。

○一般家庭、住宅被害723世帯推定額3550万円。

○物置、カーポート等73件約8328万円

○車の被害264件6600万円、合計1億8478万円

○農業関係、野菜類、養鶏場、農業用ハウス等の被害総額2億5804万5千円

○住宅被害、農業被害合計4億4282万5千円の被害となりました。

○一般家庭の補償金の申請等に使用する被害証明書の発行は町のホームページに掲載。

○カーポートなどの撤去処分については、証明書を添付し環境課において減免申請の手続きをすれば無料で、小川地区衛生組合に搬入出来ます。

○農業被害で再建される場合ビニールハウス等の撤去費用は、国県町の補助が見込めます。更新する場合の補助制度や、無利子融資制度の活用が出来ます。

森田泰雄